

## クイックスタートガイド



# EUROPORT PPA200

Ultra-Compact 200-Watt 5-Channel Powered Mixer with  
Wireless Microphone Option, KLARK TEKNIK Multi-FX Processor  
and FBQ Feedback Detection

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

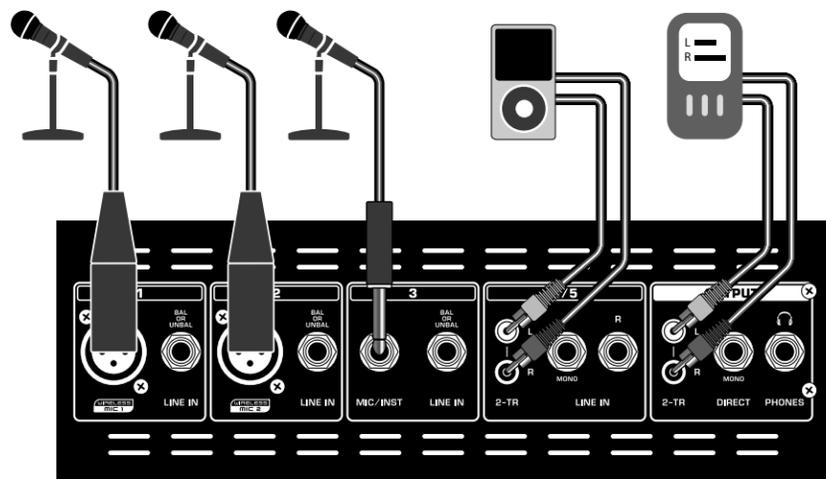
**限定保証**

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 [music-group.com/warranty](http://music-group.com/warranty) にて詳細をご確認ください。

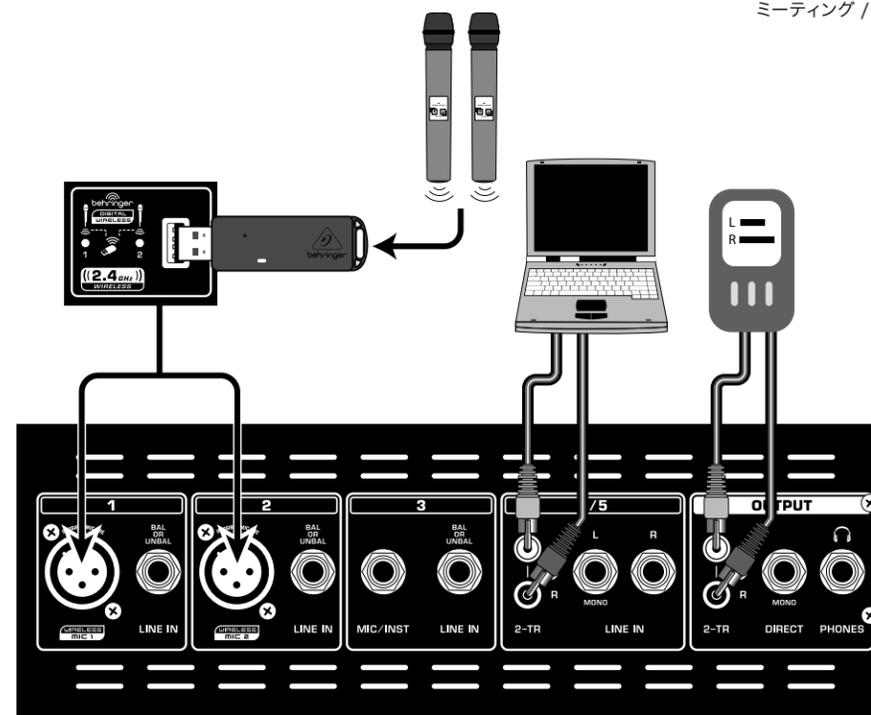
# EUROPORT PPA200 フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

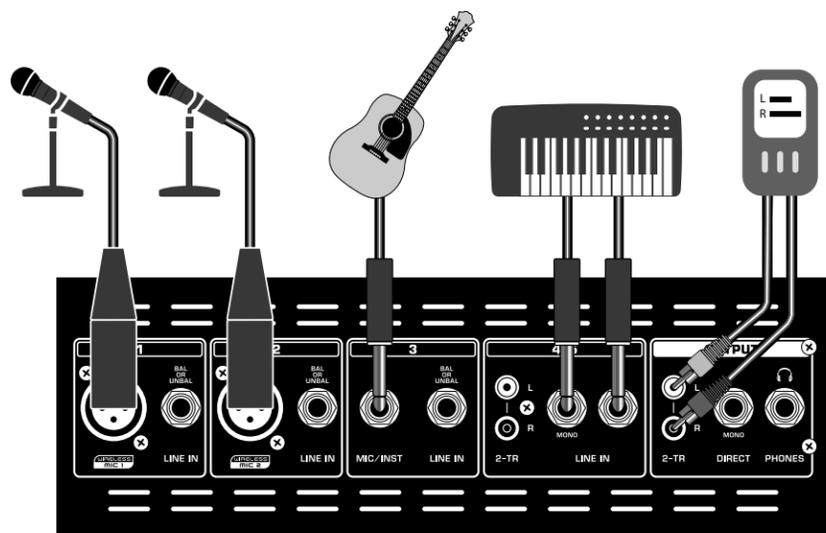
パネル・ディスカッション



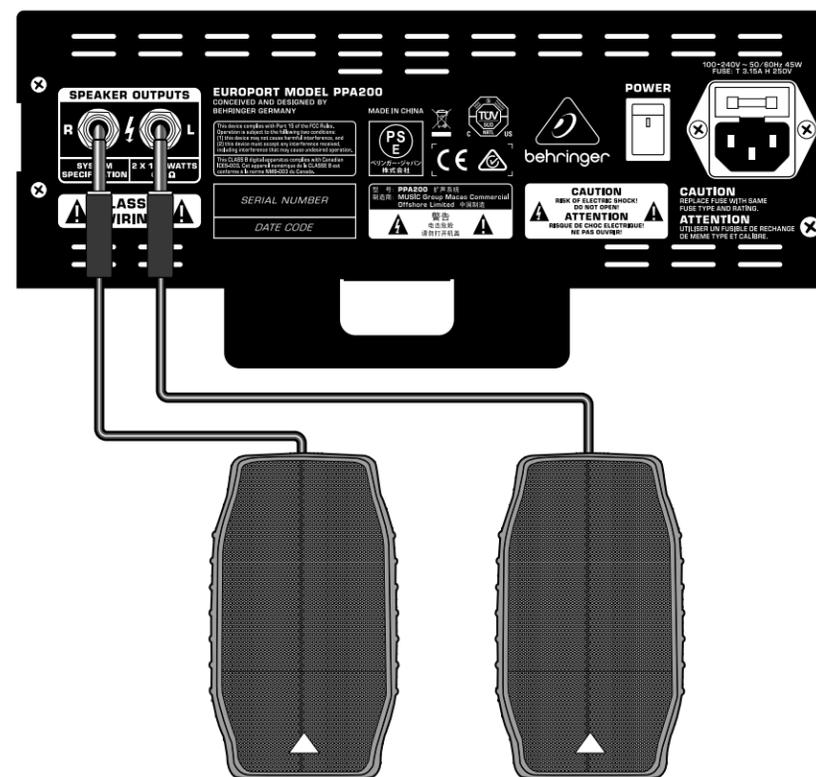
ミーティング / セールス・プレゼンテーション



シンガー・ソングライターのパフォーマンス用セットアップ

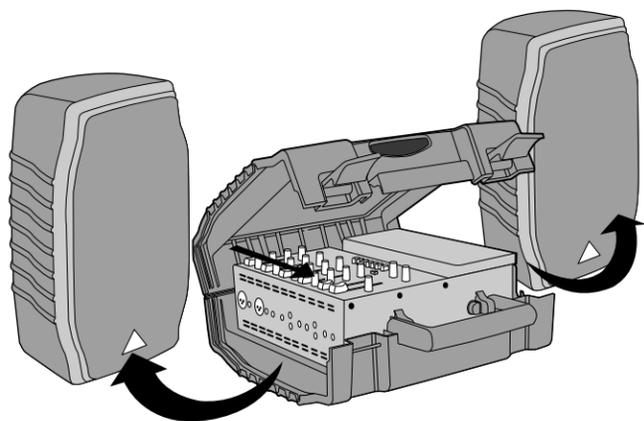
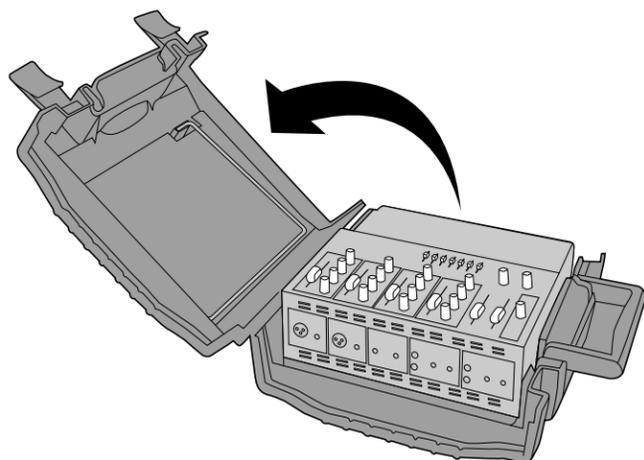


スピーカーの接続



# EUROPORT PPA200 接続

## ステップ 2: 接続

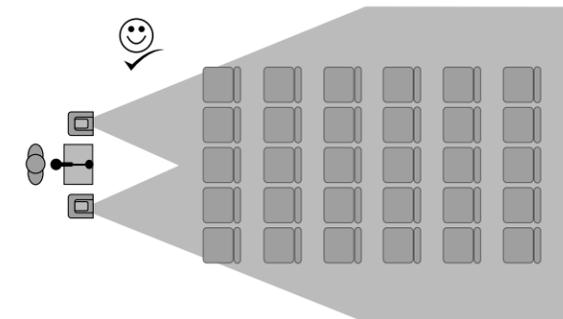


**1** ケースを開きます。

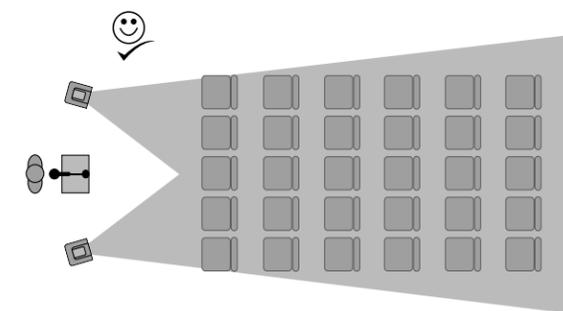
**2** スピーカーを枠から持ち上げて取り外します。これらをオーディエンスの方向に向けて、ステージの両端に置きます。可能であれば、スピーカーをオーディエンスの頭または頭より上の位置まで上げます。

**3** スピーカーケーブル、マイクロフォン、マイクロフォン用のクリップとケーブル、電源コード、 $\frac{1}{8}$  インチ・ミニプラグステレオ RCA アダプターのアクセサリ類を袋の中から取り出します。

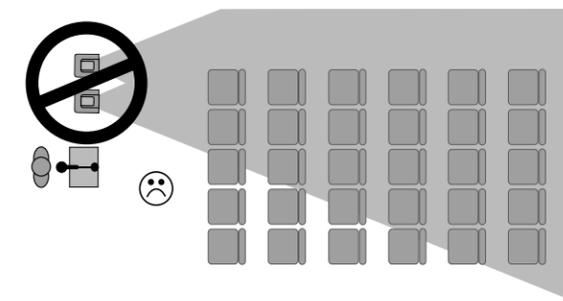
推奨されるスピーカーの配置、左と右



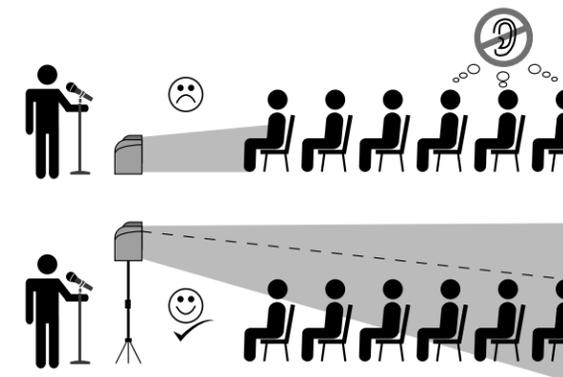
推奨されるスピーカーの配置、(角度をつけた) 左と右



推奨しないスピーカーの配置



推奨されるスピーカーの高さ



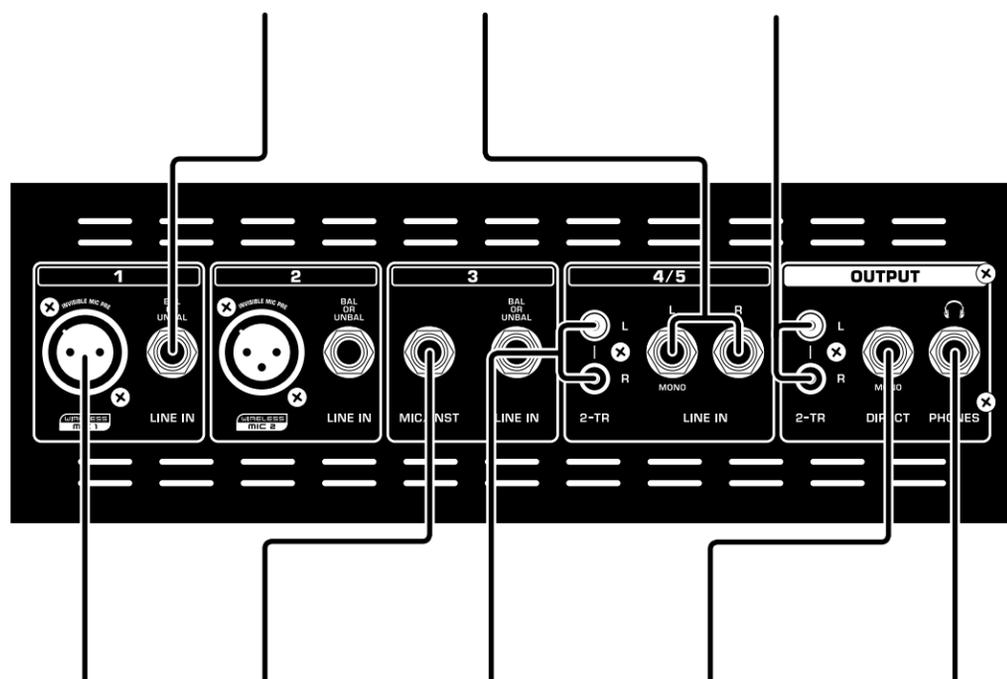
# EUROPORT PPA200 コントロール

## ステップ 3: コントロール

**LINE IN** 楽器、CD プレイヤー、サブミキサー、その他のラインレベルのソースを、 $\frac{1}{4}$  インチプラグを使ってこれらの端子に接続します。これらの端子は、バランスとアンバランスの両方の信号に対応します。

**STEREO LINE IN** (チャンネル 4/5 のみ) CD プレイヤー、テープデッキ、mp3 プレイヤーなどのサウンド・ソースを、ステレオ RCA ケーブルを使って、この端子に接続します。

**2-TR OUTPUT** テープデッキ、デジタル・レコーダー、その他の録音機器に、ラインレベルのステレオ信号を出力します。



**MIC INPUT** ダイナミック (ハンドマイク) またはコンデンサーマイクを XLR ケーブルを使ってこの端子に接続することができます。これらの XLR 入力、コンデンサーマイクを使うためのファンタム電源付きのマイクプリアンプを備えています。

**MIC/INST INPUT** (マイク / インストゥルメント入力) ギターまたは high-Z マイクロフォンなど、 $\frac{1}{4}$  インチ 高インピーダンス ("high Z") ケーブルをここに接続します。

**2-TR INPUT CD** プレイヤー、テープデッキ、mp3 プレイヤーなどのサウンド・ソースを、ステレオ RCA ケーブルを使って、この端子に接続します。

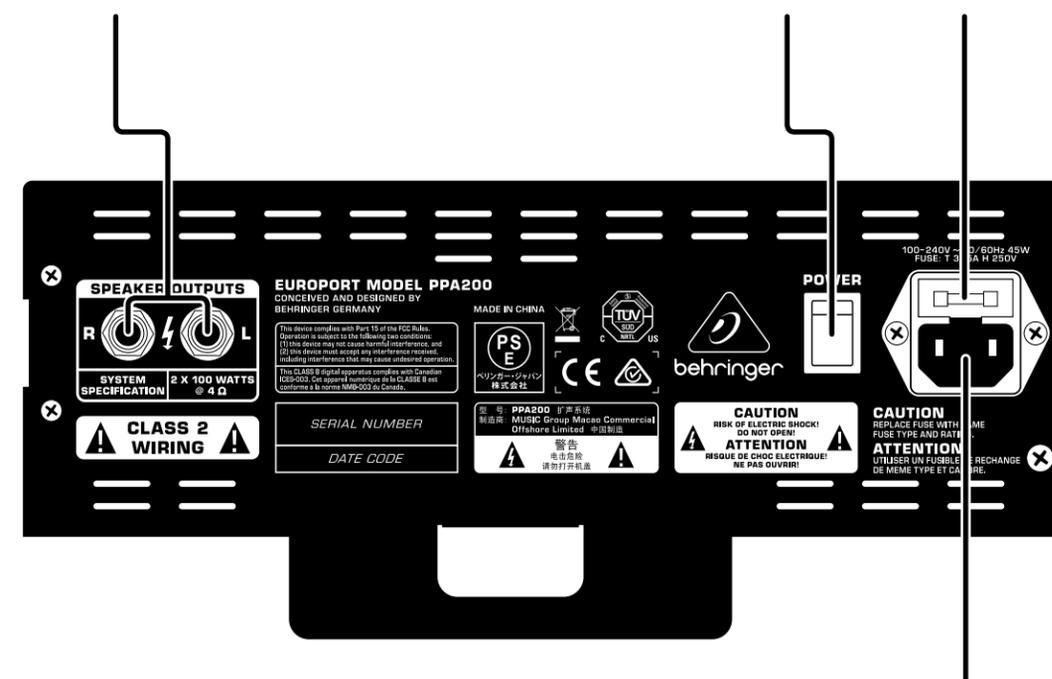
**DIRECT** テープデッキ、デジタル・レコーダー、その他の録音機器に、ラインレベルのモノラル信号を出力します。

**PHONES**  $\frac{1}{4}$  インチ TRS ステレオプラグを使って、ヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンによっては、アダプターが必要です。

**SPEAKER OUTPUTS**  $\frac{1}{4}$  インチプラグ付きのスピーカーケーブルを使って、付属しているスピーカーをこれらの左右の端子に接続します。楽器用のシールドケーブルは使用しないでください。付属のスピーカーだけを使用してください。

**POWER SWITCH** この機器の電源をオン / オフします。

**FUSE** ヒューズはここで交換します。



**POWER SOURCE** 付属している IEC 電源ケーブルをこの端子に接続します。

## EUROPORT PPA200 コントロール

## ステップ 3: コントロール

**DIGITAL WIRELESS USB**  
(デジタル・ワイヤレス USB 入力) には、オプションの BEHRINGER ワイヤレス・マイクロフォン・レシーバーを接続します。LED にはワイヤレス・マイクロフォン信号入力の状態が表示されます。ワイヤレス・マイクロフォン・システムを接続すると、自動的に MIC1 および MIC2 アナログ入力が無効になります。

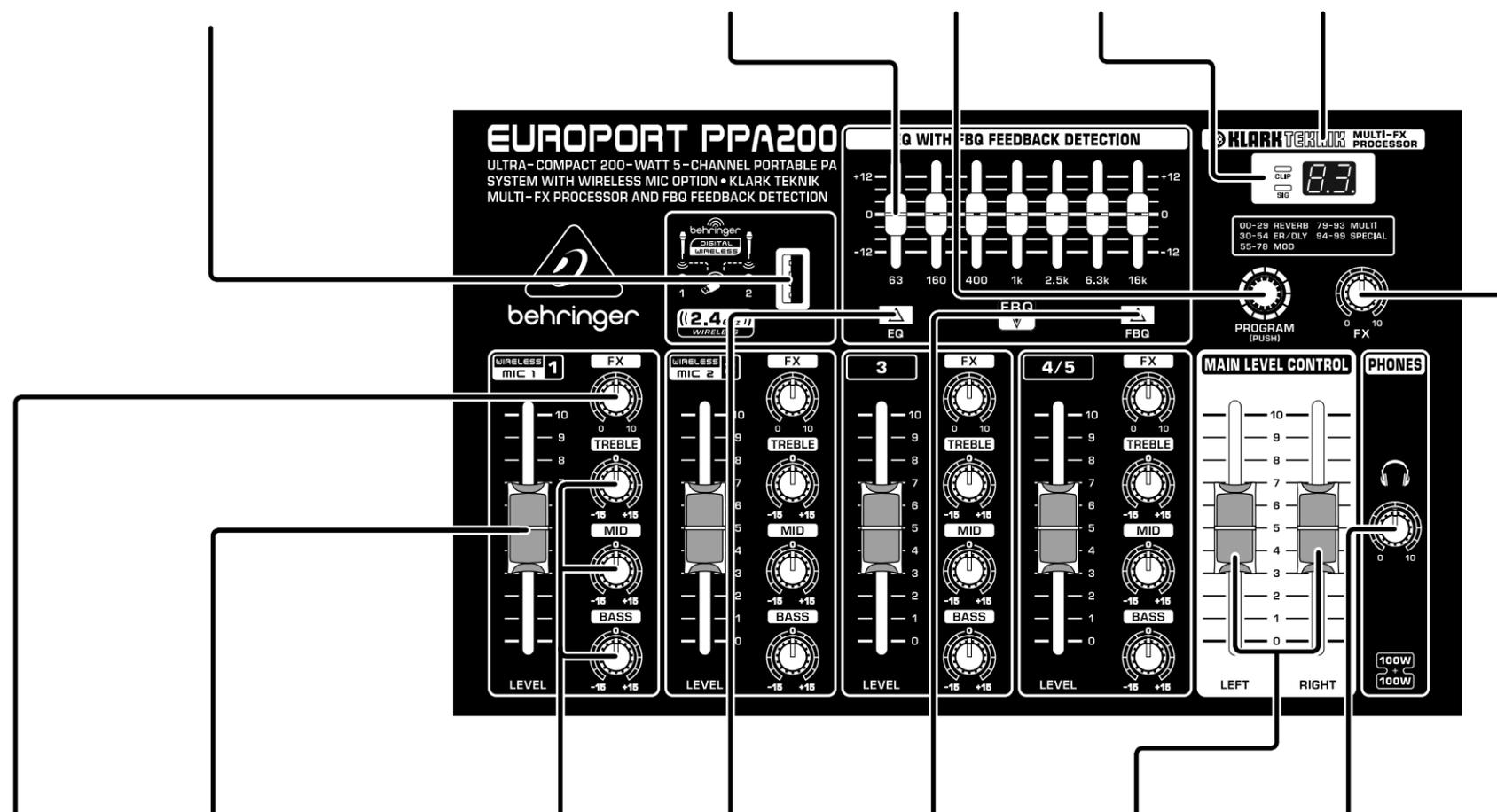
**GRAPHIC EQ** サウンドのスペクトラムの特定の周波数帯を調節します。

**PROGRAM** このノブを回転させ、エフェクトのパッチをスクロールし、パッチを選択します。

**CLIP/SIG LED** (クリップ / 信号 LED) この LED で、MULTI-FX プロセッサ内の信号の状態をモニターします。SIG LED は、プロセッサを信号が流れている時に点灯します; CLIP LED はチャンネル・ストリップの FX センド端子から送信される信号により、プロセッサが過負荷になると点灯します。

**MULTI-FX PROCESSOR**  
選択されたサウンド・エフェクトを FX ノブが上がっているすべてのチャンネルに加えます。エフェクトには、リバーブ、コーラス、フランジャー、ディレイが含まれます。

**FX** は、MULTI-FX PROCESSOR からメインミックスに返されるエフェクトの量を調節します。



**FX** は、各チャンネルの信号が、MULTI-FX PROCESSOR に送られる量を決めます。

**LEVEL** このスライダで、各チャンネルのボリュームを決定します。

**EQ KNOBS** これらのノブは各チャンネルのロー、ミッド、ハイの周波数帯を 15 dB プーストまたはカットします。

**EQ GRAPHIC EQ** を有効にします。

**FBQ** フィードバックが起きている周波数帯を検知し、一致する GRAPHIC EQ のスライダが点灯させる、フィードバック感知システムを有効にします。この機能を作動させるためには、EQ ボタンも有効にする必要があります。

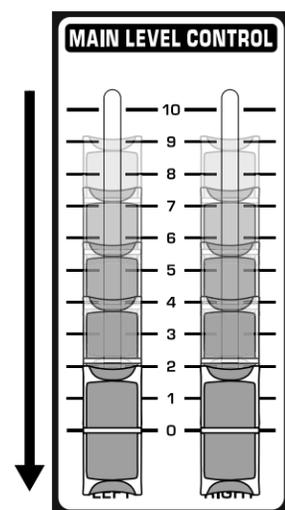
**MAIN LEVEL CONTROL** 各フェーダーが独立して、ステレオ出力の左右のボリュームをコントロールします。

**PHONES** は、PHONES 出力端子のボリューム・レベルを調節します。

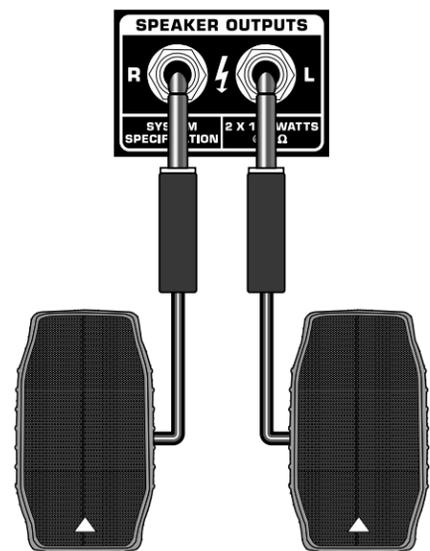
## EUROPORT PPA200 はじめに

## ステップ 4: はじめに

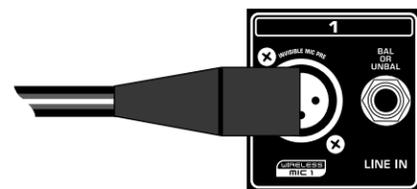
- 1** POWER SWITCH が OFF で MAIN LEVEL CONTROL faders が完全に下がっていることを確認してください。



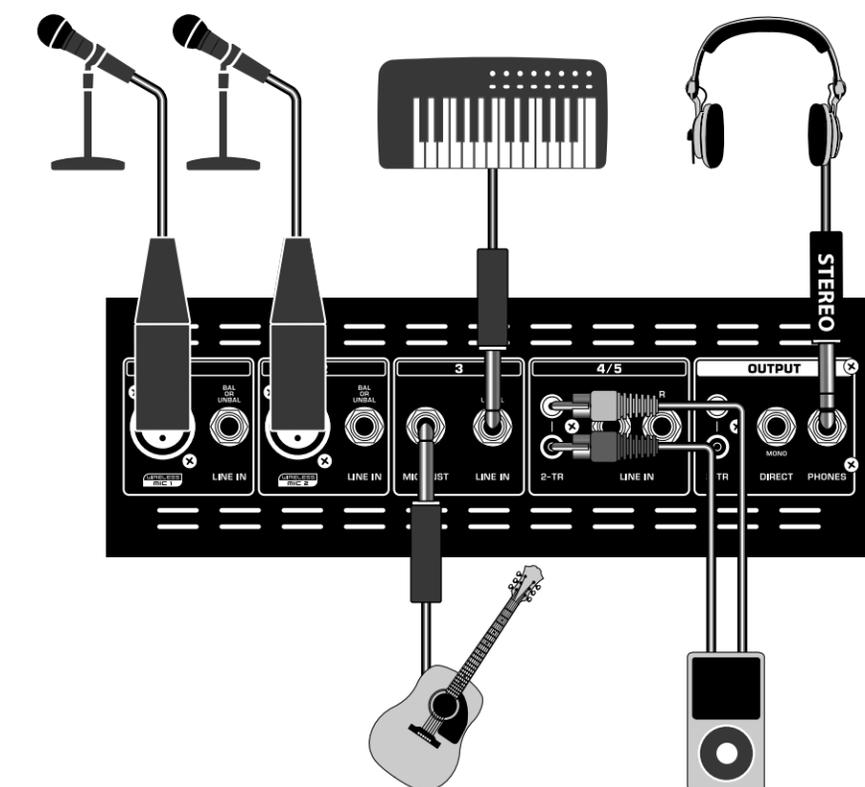
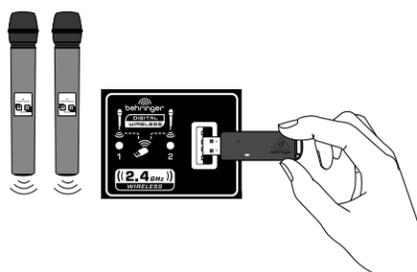
- 2** LEFT SPEAKER OUTPUT から左のスピーカーに、RIGHT SPEAKER OUTPUT から右のスピーカーにスピーカーケーブルを接続してください。注意—スピーカーの接続には同梱されているスピーカーケーブルか同等品を使用してください。楽器用のシールドケーブルは使わないでください。他のスピーカーをこのシステムに接続しないでください。



- 3** PPA200 をスピーチまたは歌唱に使う場合は、CHANNEL 1 または 2 に付属のマイクを接続してください。マイクケーブル (3 ピン) のオス側をマイク入力に接続し、メス側をマイクロフォンの底面に接続します。

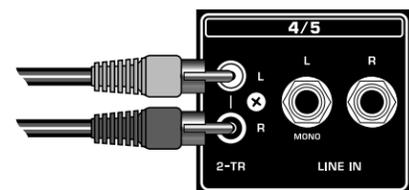


- 4** BEHRINGER ワイヤレスマイクを使用する場合は WIRELESS SYSTEM USB 入力にワイヤレス dongle を差し込みます。ワイヤレスマイクがアクティブの場合 WIRELESS SYSTEM LED が点灯します。



- 5** アコースティック / エレクトリック・ギターを CHANNEL 3 MIC/INST 入力に接続できます。キーボードはすべての LINE IN 入力につなぐことができます。注意—一つのチャンネルに複数のソースを接続しないでください。

- 6** CD、tape、MP3 プレイヤー、その他オーディオのソースを再生する際には、機器を CHANNEL 4/5 にステレオ RCA 入力を使って接続します。1/8 インチのミニプラグ-ステレオ RCA アダプターが付属しています。

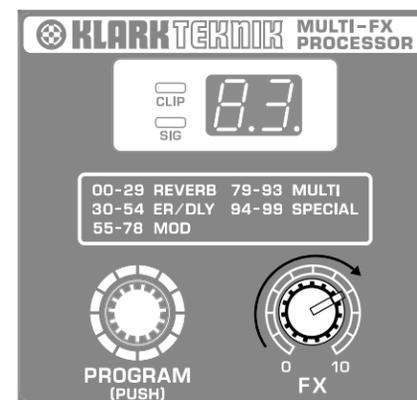


- 7** MAIN LEVEL CONTROL faders をまず中央付近まで上げます。

- 8** マイク、楽器、CD プレイヤーなどの個別のチャンネル・フェーダーを必要なレベルまで上げます。フィードバックを防止するため、マイクはできるだけスピーカーから離してください。

## エフェクトの追加

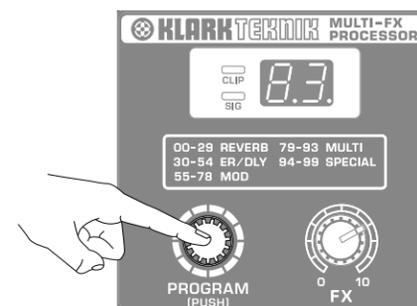
- 1** MULTI-FX PROCESSOR の FX ノブを約 75% のところに設定します。



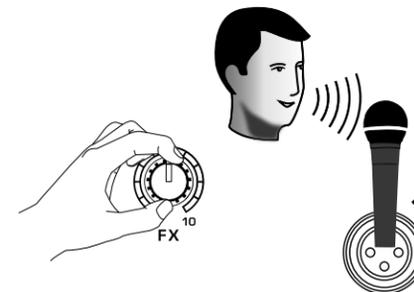
- 2** PROGRAM [PUSH] ノブを回して、利用可能なエフェクトをスクロールします。ディスプレイに表示されている数字が点滅します。



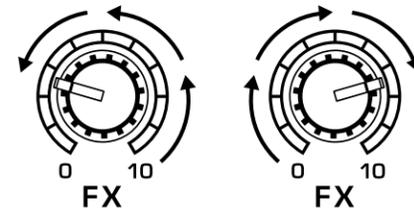
- 3** PROGRAM [PUSH] ノブを押して、エフェクトを選択します。数字の点滅が停止します。



- 4** マイクロホンに向かって話すか歌う、または演奏しながら、エフェクトを加えたいそれぞれのチャンネルのチャンネル FX ノブを適切なレベルになるまで回します。



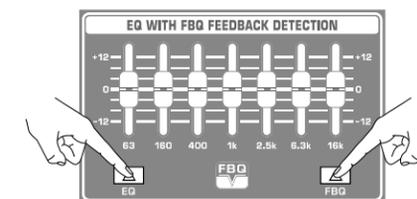
- 5** MULTI-FX PROCESSOR の FX ノブを、最初に設定した 75% から、メインミックスで全体的に適切なエフェクトになるまで調整します。



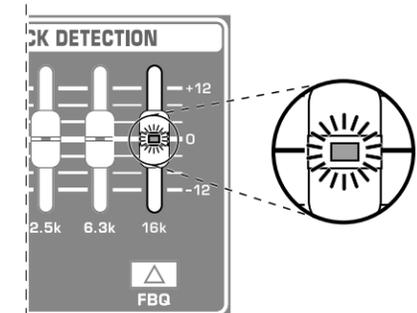
## FBQ フィードバックディテクション

「フィードバック」とは、音波がスピーカーとマイクロホンの間でループしたときに発生する、好ましくない高周波の音のことです。

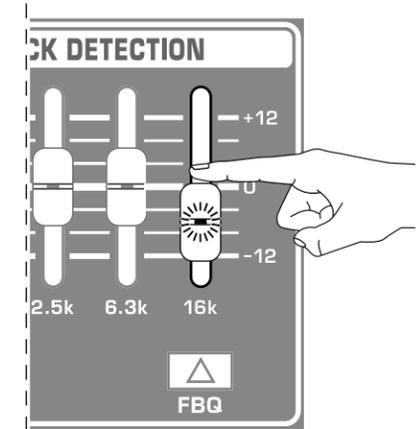
- 1** フィードバックが起きた場合、EQ および FBQ ボタンを押します。



- 2** フィードバックを起こしている特定の周波数に対応する EQ スライダーの LED が点灯します。



- 3** 点灯した EQ スライダーを、フィードバックが消えるまで下げます。



# JP 技術仕様

Mixer Section	
Inputs	2 x XLR 3 x ¼" TRS balanced 1 x ¼" TS, unbalanced 2 x RCA, unbalanced 1 x 2-channel BEHRINGER ULM Digital Wireless
Outputs	2 x RCA, unbalanced 1 x ¼" TS, unbalanced mono 1 x ¼" TRS, stereo
Wireless Input	
USB dongle (not included)	USB socket accepts signals from max. 2 BEHRINGER ULM microphones
Signal indicator LED	2 (green)
Amplifier	
Maximum output power	2 x 100 W @ 4 Ω*
Frequency response	40 Hz to 25 kHz
Signal-to-noise ratio	85 dB, A-weighted
Outputs	¼" TS, left and right
Speakers	4" woofer and 1" tweeter
Function Switches	
FBQ	Activates the FBQ Feedback Detection System
EQ	Activates the graphic EQ
Graphic EQ	
Type	7-band
Effects	
Type	KLARK TEKNIK
Converter	24-bit Delta-Sigma
Sampling frequency	40 kHz
Display	2-digit, 7-segment
Power Supply / Voltage (Fuses)	
USA / Canada	100-120 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A H 250 V)
Japan	100 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A H 250 V)
UK / Australia / Europe / Korea / China	220-240 V~, 50/60 Hz (T 3.15 A H 250 V)
Power consumption @ 1/8 rated power	45 W
Mains connection	Standard IEC receptacle
Dimensions / Weight	
Dimensions (H x W x D)	339 x 613 x 186 mm (13.4 x 24.1 x 7.3")
Weight	12 kg (26.5 lbs)

\*Independent of limiters and driver protection circuit

# その他の重要な情報

## JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to Music